大腸の手術を受けられる＿＿＿＿＿＿様

金沢大学医学部附属病院　外科　主治医（　　）
＿＿病棟＿＿＿階　　受持看護師（　　）

	入院日	手術前々日	手術前日	手術当日（　/　）		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10～14日目
	（　/　）	（　/　）	（　/　）	手術前	手術後	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	（　/　）	退　院
安静活動	病院内自由です				手術後は西病棟4階の術後回復室か病棟の重症個室に入ります(状態が落ち着いたら病棟に戻ります) ベッド上で安静にしていて下さい 横向きになることができます	ベッドを起こして座ることができます ベッドの横に立つことができます 可能な病室内を歩きましょう	病室・病棟内を歩きましょう	病棟内を歩けます		院内自由です					
食事	普通食です	朝から腸内に便を残さないための食事です (病院から出る食事以外は避けて下さい。) アメ・ガムは食べてもかまいません。ガムは飲み込まないよう注意して下さい)	朝から絶食で水分のみになります (水・お茶・透明ジュースなど) 乳製品は不可	0時から飲んだり食べたりできません			1日300mlまで水分が摂れます (水・お茶・スポーツドリンク)	水分摂取に制限はありません		食事を開始します 消化食5分粥 (小盛)		消化全粥になります(小盛)		全粥になります	
清潔	入浴できます		看護師が毛剃り・おへその処置をした後に入浴して下さい	朝はいつものように洗面をして下さい 入れ歯、指輪、時計、コンタクトレンズ、眼鏡、ヘアピンなど外しておいて下さい		体を拭いて着替えをします 尿の管が入っているため、陰部洗浄をします (感染予防)		下半身シャワーができます		シャワー浴ができます		入浴できます			
観察	1日1回検温をします			手術前の検温をします	2時間毎に検温をします 傷口の観察をします	4時間毎に検温をします		1日4回の検温をします			1日2回の検温をします		1日1回の検温をします		
情報の提供	・入院後、呼吸練習をします ・禁煙は守りましょう ・看護師が手術の経過について説明します	・麻酔科の受診があります ・受診の前に、麻酔科のビデオを視聴していただきます **看護計画** #1 疾患や手術に対する不安 わからない事、不安な事があれば伝えて下さい	前日までに主治医より手術についての説明があります	手術は　時　分からの予定です 麻酔をかけるために1時間前には（　時　分）手術室に入ります 髪の長い方は2つに結んでください 出発前にトイレを済ませて下さい 寝衣のまま手術室に行きます	手術後、ご家族に主治医より説明があります **看護計画** #2 疼痛、術後出血、縫合不全 異常の早期発見に努めます 痛い時、辛い時は看護師に伝えて下さい	**看護計画** #3 肺合併症予防 歩く練習をしましょう 歩くことが呼吸・循環に良いです		「大腸の手術を受けられた方へ」のパンフレットをお渡しします。 **看護計画** #4 腸の動きが促される おなかが張っていませんか 便の性状・回数を教えてください 内服薬でコントロールしていきます		**看護計画** #5 退院後の生活への不安 食事・排便コントロールについてわからないことはありませんか、退院までに一緒に解決していきましょう		栄養指導を管理栄養士から受けていただきます お渡ししたパンフレットを持参してください			退院可能です **退院への目標は・・・** ・食事を開始し、腹痛、発熱を起こすことなく摂取することができる ・食事量が半分以上摂取でき点滴を終了することができる ・内服薬の説明を理解し、排便をコントロールできる (泥状便～水様便で回数が3～5回程度) ・排尿が定期的にある ・病棟内・院内歩行ができ、シャワー浴ができる 以上です
処置	**【手術前に準備するもの】** ○印のものを一枚ずつ看護師に渡して下さい。 ・手術承諾書 ・バスタオル(色の薄いもの) 2～3枚 ・マジックテープ式の腹帯 1枚 ・タオル 2～3枚 ・スリッパ ・紙おむつ2～3枚 ・歯磨き道具 ・ティッシュ1箱 ・ナイロン袋 2枚 ・電気カミソリ(男性の方のみ) ・横飲み ・スプーン ・箸 ・コップ ◎上記のものは地階薬局にも売っています 足りない場合は追加準備していただくことがあります。 ※上記以外のものはすべてバック又は袋に1～2 個程度にまとめて下さい。 貴重品(現金) は必ずご家族にお預け下さい。			朝7時頃、浣腸します 弾性ストッキングをはきます	酸素マスクをします→朝、酸素マスクを外します 下肢の血流を促す装置がつきます→ベッドの横で立位をとることができれば外します。 歩くことができれば脱ぎます 鼻から管が入っています→朝、鼻から入っている管を抜きます 心電図モニターをつけます→朝、モニターを外します 尿の管が入っています→尿の管を抜きます 蓄尿は続けて下さい→24時で蓄尿は終了です 背中に痛み止め注入用の管が入っています→痛み止めの管を抜きます お腹とお尻に管が入っています→主治医診察後、お尻の管を抜きます 痰を出しやすくするために吸入を1日3回します→24時で吸入を終了します 傷は透明フィルムで保護してあります ガーゼ交換はありません			5～7日目に主治医診察後、お腹の管をぬきます		傷の透明フィルムをはがします		退院（　/　） 退院の説明があります。 診断書・証明書の必要な方は退院時に外来18番窓口へ提出して下さい 再診日 （　/　）＿＿時 西村医師 退　院	
点滴内服検査		下剤を内服します ・15時 マグコロール1杯(白湯で溶かした水薬) ・21時 プルゼニド2錠	眠れない時には安定剤があります リスミー(1) 1錠/眠前 ※常用されている眠剤がある場合はそちらを服用して下さい 腕から点滴の針を留置し、13時から点滴を開始します 21時に点滴を止めます	朝、内服していただく お薬は＿＿＿＿＿＿＿＿ です 少量の水で内服して下さい 6時から点滴をします	点滴を持続的に行います→24時で点滴を終了します 抗生剤の点滴をします→3日目24時で点滴は終了です	朝、採血があります お部屋でレントゲンをとります		内服を開始します 術前に内服していたものも再開します また、新たに内服を追加処方します ラックビー2.0g マグミット(500mg) 3錠 / 毎食後	薬剤師より服薬指導があります わからないことがあれば聞いて下さい			朝、採血があります		おめでとうございます

※これは入院中の基本的な経過をお知らせするものです。退院までの経過には個人差があり、予定が変更になる場合があります。